

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム 第2591回		3月22日	
客話「SNSを使った投資詐欺の被害防止」香川県警察本部生活安全部生活安全企画課 遠山敬久様			
担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松

先週のプログラム 第2590回		3月15日	
例会変更 玉藻公園			
担当者	プログラム委員会	例会場	玉藻公園



磯崎会長挨拶

・ こんにちは。
今年の冬は暖冬と言われつつ3月に入って冬に逆戻りしたような日もありましたがやっと春らしさを感じれるようになりました。
この度、高松西ロータリークラブ創立55周年記念事業として観光案内板を高松市の玄関口でありますこの場所に設置させて頂くことができ会員一同大変光栄に存じます。

本日の除幕式には
高松市から【創造都市推進局長】であります、
中川 昌之(なかがわ まさゆき)様 並びに
【文化財課長】であります
川畑 聡(かわはた さとし) 様にお忙しい中、おいで頂いております。ありがとうございます。また
【玉藻公園 管理事務所】からは
所長 岡 一洋(おか かずひろ)様にも同席頂きましての除幕式ができますこと本当にありがとうございます。

高松西ロータリーは周年行事の度に活動拠点であります高松市にその時々に対応しい社会奉仕を行って参りました。

今回は高松市サンポート地区の再開発に相応しく観光都市として更なる飛躍が期待できます高松市にこのような観光案内板を設置することで多くの方々に長くお役に立てるのではないかと思います計画させて頂きました。今日、その除幕式を挙行できますことを誇りに思うと同時にこれからもロータリー活動を通じて地域と交流できますことを祈念いたしまして今日の挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

55周年記念事業・玉藻公園案内図除幕式



3月22日 今日は何の日	今日生まれの有名人
NHK放送記念日/水の日(ユネスコ)/奈良法隆寺会式 1934年 文部省、国号の呼び名をニッポンに統一 1993年 インテルが初のペンティアムプロセッサを販売	1969年 有働由美子 1934年 大橋巨泉 1929年 草間彌生
誕生花 碓草、花言葉は“あなたを放さない”	
誕生石 パール(Pearl)、宝石言葉は“健康・長寿”	

我等の生業
我等の生業さまざまなれど 集いて図る心は一つ 求るところは平和親睦 力るところは向上奉仕 おおロータリアン 我等の集い



ニコニコBOX

除幕式ありがとうございました。磯崎
3/9土曜日、鮎滝アウト4番でホールインワンしました。田中

合計 2 件

本日の合計 4,000 円
2023-2024 年度累計 613,000 円

出席報告

出席委員長：低田陽介

会員数 /	42 名	出席規準数 /	39 名
出席者数 /	20 名	欠席者数 /	19 名
出席率 /	51.28%	ビジター /	0 名
最終出席率 /	2 月 16 日	57.89%	→ 73.68%

メイクアップ

3月 3日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島
3月14日 高松 R C 堀井 白川

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

22. 親友におしゃべりは無用

One doesn't need to chatter like a magpie while in the companionship of a friend.

親友とつきあうのに鶉の様にしゃべりまくるには及ぶまい。

これも名言だ。「空き樽はよく鳴る」という皮肉な諺があるが、大体あまり騒がしいのはお脳の弱い証拠である。親しい交りに会話は必ずしも必要でない。カーライルは静かに黙って親友と向き合ったまま長い冬の夜を過ごすことを好んだ、とポールは書いている。別にとりたてておしゃべりするでもなく、ただ静かに向き合っているだけで満足感を覚える友人、それこそ本当の親友というものだろう。いや寧ろ「心友」とでも書くべきものだろうか。夫婦ならなお更そうだろう。アメリカ人夫婦は毎日、愛しているか、愛しているか、と確かめ合うそうだが、どうもその辺は我々東洋人の方がカーライルの心情に近そうだ。

ただアメリカの賑やかなクラブ例会と、日本の静粛なクラブ例会とくらべてみて、然らば日本のロータリアン同志の方が本当にお互いの心が通いあっているのか、となるとこれは大いに疑問である。

RI 会長からのメッセージ (3 月)



ロータリー平和フェローのように考える

ゴードン R. マッキナリー
2023-24年度 国際ロータリー (RI) 会長

平和への道は数多くあります。ロータリーには幸い、この真実を自ら示し続ける、ロータリー平和フェローがいます。ロータリーは毎年、世界中のリーダーが平和と発展を学ぶため、最大130人にフェロシップを授与しています。平和フェローは、紛争の予防と解決に取り組み、積極的平和を促進するために学び、その準備を整えます。そんな平和フェローによる、平和推進の創造的な取り組みの例をご紹介します：

持続可能性を高める

アレハンドラ・ルエダ・ザラテさんは、ロータリー平和フェロシップのプログラムで得た平和と紛争解決のための知識と、修士号を持つエネルギー・資源分野での知識とを合わせて、コロンビアの田園地方を保護するという夢をかなえるために活動しています。

ザラテさんは、2011年に NES Naturaleza という団体を設立し、コロンビアや中南米の地方農家が持続可能な農業を行っていくための知識と研修の機会を提供しています。この支援により、約4,500人の農家の人の生活が改善され、彼らに起業家になるインスピレーションが与えられました。また、中南米全域で自然と社会の持続可能性を推進する一助となりました。

人種差別をなくす

平和フェローのジョフリー・ディーゼルさんとキャシー・ドハーティーさんは、フェロシップで培った平和と発展の知識を生かし、人種平等プロジェクトを共同で始めました。これは、反人種差別の活動を通じてより平和な社会をつくる方法について研究する、北米のロータリー積極的平和アクティベーター (推進者) で構成する小委員会です。

このプロジェクトは、いわゆる「積極的平和」の枠組みとされる八つの要素 (2020年6月にグローバルシンクタンク、経済平和研究所・IEPが示した世界平和度指数) が人種差別への取り組みをどのように支えられるかを考え、北米の地域社会に広める活動を行っています。

データを活用した災害対策

ジェイミー・ルスーアさんは、ロータリー平和フェロシップを通じて平和・紛争研究における社会科学の修士号を取得しました。現在、国際赤十字・赤新月社連盟の緊急時対応を指揮し、緊急時における組織間の協力のための管理運営の枠組みを設定しています。

ルスーアさんは、複雑な災害対応に冷静さをもたらすための強力な手段は、研究データであると考えました。組織のプロトコル (規約) がどのようなものであっても、研究を意思決定の基盤とすることは、最も複雑で緊急時にあっても明確な方向性を導くことにつながります。

他にも何百とあるこうしたストーリーは、平和な世界を築くことのできる次世代のリーダーをロータリーがいかに育成しているかを証明するものです。これまでに約1,800人の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、学んだことを生かして140カ国以上で活躍しています。

平和フェローと彼らを支えるロータリー会員の継続した活動からインスピレーションを受け、皆さまが今後も奉仕、ファンドレイジング、クリエイティブな思考を通じて「世界に希望をもたらす」ことができますように。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開
していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



世界に希望を生み出そう

次週のプログラム

第 2592 回

3 月 29 日

客話「香川ファイブアローズが目指す香川県のスポーツ振興とさらなる経済活性」株式会社香川ファイブアローズ 代表取締役車長 生岡直人 様

担当者 プログラム委員会

例会場 J R ホテルクレメント高松

The Rotary Club of Takamatsu West